




平成23年5月31日

藤沢市教育委員会 委員長 小澤一成 殿

横浜の教育を考える会 代表 湯澤甲雄 
横浜市南区大岡3-41-10 電話045-713-7222
yuzamo5123@jcom.home.ne.jp

<中学校公民教科書採択に関する請願 (その2) >

<日本精神とは「約束を守り、礼節を重んじ、嘘をつかず、金で動かない、勇気がある」ことである>と、日本人の心をこのようにとらえている公民教科書をできるだけ探していただき、それに近いものを採択していただきたくお願いいたします。

これは、台湾の李登輝元総統の言葉でありまして、私も海外生活の経験に照らして同感であり、生徒がこれからの国際社会に生きるために、生まれなければならない力であると思うからであります。

以下に、背景を述べます。

それぞれの国民には、その国民の歴史からかもし出されたその国民独特の精神・気質があります。所謂アイデンテティといわれるものの一つであります。児童の権利条約第8条（アイデンテティの保全）には、「不法に干渉されることなく児童が保持する権利を尊重することを約束する」として、わが国は保全することを公約しています。

ヤンキースピリットやゲルマン魂に等しい日本人のアイデンテティは、日本精神、大和魂、義の心等いろいろありますが、これを公民の授業の中で教育すべきであります。

「日本人は民度が高いから、大震災の災害地でも混乱がおきません」とテレビで米国人が言い、同じ事を大勢の外国人が言いました。これも私たちのアイデンテティですが、これは先輩が残したものであって、中学生はこれからこのような人格形成に励まなければなりません。

私は、ニューヨークで5年間滞在、職場には500人のアメリカ人の部下が居ました。その後、シンガポールで4年間滞在、支那人、マレー人、インド人18人の部下と広東人、福建人、潮州人、客家、海南人、上海人、北京人（全部言語が異なり互いに通じない）1100社の現地中小企業と取引関係を持ち、その後、今度はソウルで2年間70人の韓国人の部下に囲まれて100社の現地中大企業と取引する生活をしました。そこで、日本人は世界中の人々から畏敬の念を持って見られており親しまれて信頼されていることを知りましたが、世界中で支那人といわれている人から、日本人だけが中国人と言わされる背景も知りました。

今の中学生は、私が外国人と関係を持った以上の多くの外国人と付き合わなければ生活できないと思います。そしてその中で、リーダーとして認められるかどうか、決定的に生活水準となって跳ね返ることでしょう。それは、その人の能力・人格・覇気によるのですが、部下を従える最低の素養として上記日本精神を身につけておくべきであります。以上

追って、本請願は、神奈川県教育委員会委員長 平出彦仁殿宛に5月27日付同文にて、請願させていただきます。